

# スタードームまどかに行こう

## 市民星空観望会

### さよなら木星

- 日時 8月5日(土) 午後7時～9時20分
- 内容 ◇望遠鏡による観測◇夏の星座の話
- ※申込不要
- ※中学生以下は、保護者同伴

### 土星の輪っかを見てみませんか

- 日時 8月19日(土) 午後7時～9時20分
- 内容 ◇望遠鏡による観測◇夏の星座の話
- ※申込不要
- ※中学生以下は、保護者同伴



## 天文講座

### アインシュタインと宇宙

“相対性理論”で有名なアインシュタイン。実は“宇宙理論”というのを見つけていたのを知っていますか？ 分かりやすく紹介します。

- 日時 8月27日(日) 午後2時～4時
- 講師 鷹野重之さん  
(九州産業大学工学部特任講師)
- 定員 50人(先着順)
- 申込期限 8月26日(土)



- 会場 北コミュニティセンター
- 申し込みと問い合わせ先  
北パートナーシップ活動支援センター  
(北コミュニティセンター内)

☎(513)0099



## あけてみよう！歴史のとびら 拾い歩き！大野城市の地名④ (96)

### 白木原の名は？

江戸時代に書かれた『筑前国続風土記拾遺』(以下、『拾遺』)には、「大和利・白木原は元一村なり。近代別村となる」と記されており、白木原は大和利(元の上大和村・下大和村)と一つの村であったようです。

ところが、明応8年(1499年)の光明蔵禅寺(現在の太宰府市光明禅寺)に関する史料には、「白木原一所 八段」と記されていることから、少なくともこのころには白木原の一部が光明蔵禅寺の所領となっていたことが分かります。(二段(反)はおおむね1000㎡)

『拾遺』には「近代別村となる」と書かれていましたが、白木原と瓦田は壇安命を祭神とする地祇神社、上大和利・下大和利は菅原大神を祭神とする老松神社と異なっていることから、分村のきっかけと時期は、異なっていたのかもしれない。

また『拾遺』には、白木原の地名の起りとして、「白木ハ新羅なるべし」として渡来人との関わりを考える説が出されています。ただし、これまでの発掘調査では、それを示すような遺跡・遺物は見つかりません。

江戸時代の白木原村は、本村・原・安行の3つに集落が分かれていました。本村は、現在の白木原地祇神社の周辺、原は大野中学校の周辺にあたります。

安行は今の小字には見えませんが、『拾遺』には「大道側作出也」と注記がふられており、大道は日田街道のことと考えられます。現在の小字では、「大道端」という地名が白木原集会所の周辺に残っており、街道沿いにあたる土地の記憶を留めています。

街道沿いに開けた集落は、明治時代には町と呼ばれ、大正初期には酒屋・魚屋・饅頭屋・煙草屋・焼瓦屋などの商店が広がっていたそうです。



現在の日田街道(白木原5丁目付近)

### ●問い合わせ先

歴史資料展示室(市役所新館3階)  
☎(580)1918

